



いわみ

議会だより

3月定例会

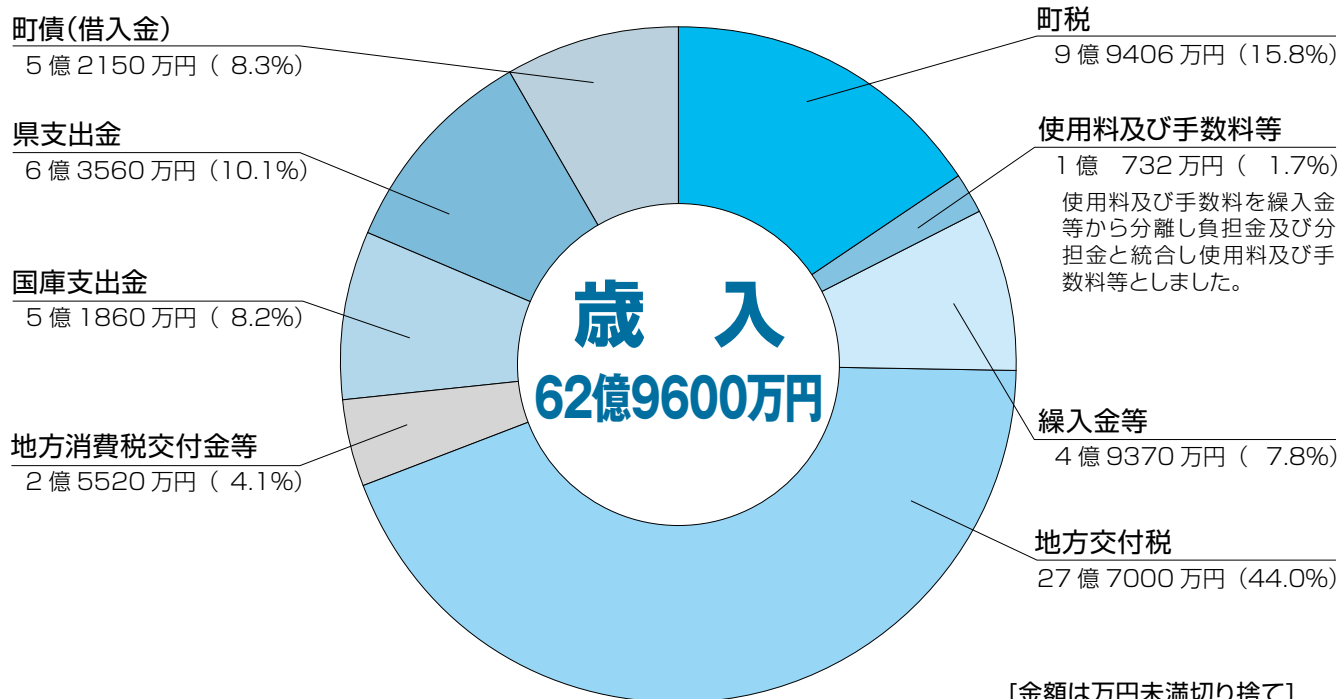
- 2 子育て支援と定住の独自施策を持続
- 4 主な議案の概要と本会議の質疑
- 9 賛否めぐり白熱の討論
- 11 一般質問 3議員が町政を質す
- 14 人口増の取り組みを調査
- 18 東浜瑞風会登場 (18頁から16頁へお読みください。)

わたしも写してV・(06)
(岩美北小学校入学式4月10日)

の独自施策を持続

を確かなものに

入るお金



事業名	金額 (万円)
学校・社会教育関連の主な事業	
中学・高等学校生徒の通学費補助	372万円
岩美高校生の下宿費補助	48万円
高等学校等新入生通学費補助	253万円
小中学校30人学級編制費	2500万円
特色ある学校づくり推進事業費	1校100万円・計400万円
中央公民館整備事業費	1億3080万円
農水産業関連の主な事業	
農地集積・集約化対策事業	1217万円
多面的機能支払交付金	3545万円
沖合底曳き網漁業生産体制存続事業費	2000万円
6次産業化総合支援事業費	1404万円
定住・地域おこし関連の主な事業	
子育て世帯等住宅新築・リフォーム助成事業	1204万円
地域おこし協力隊事業費	2720万円

3月定例会は、3月8日から23日まで、16日間の会期で開きました。

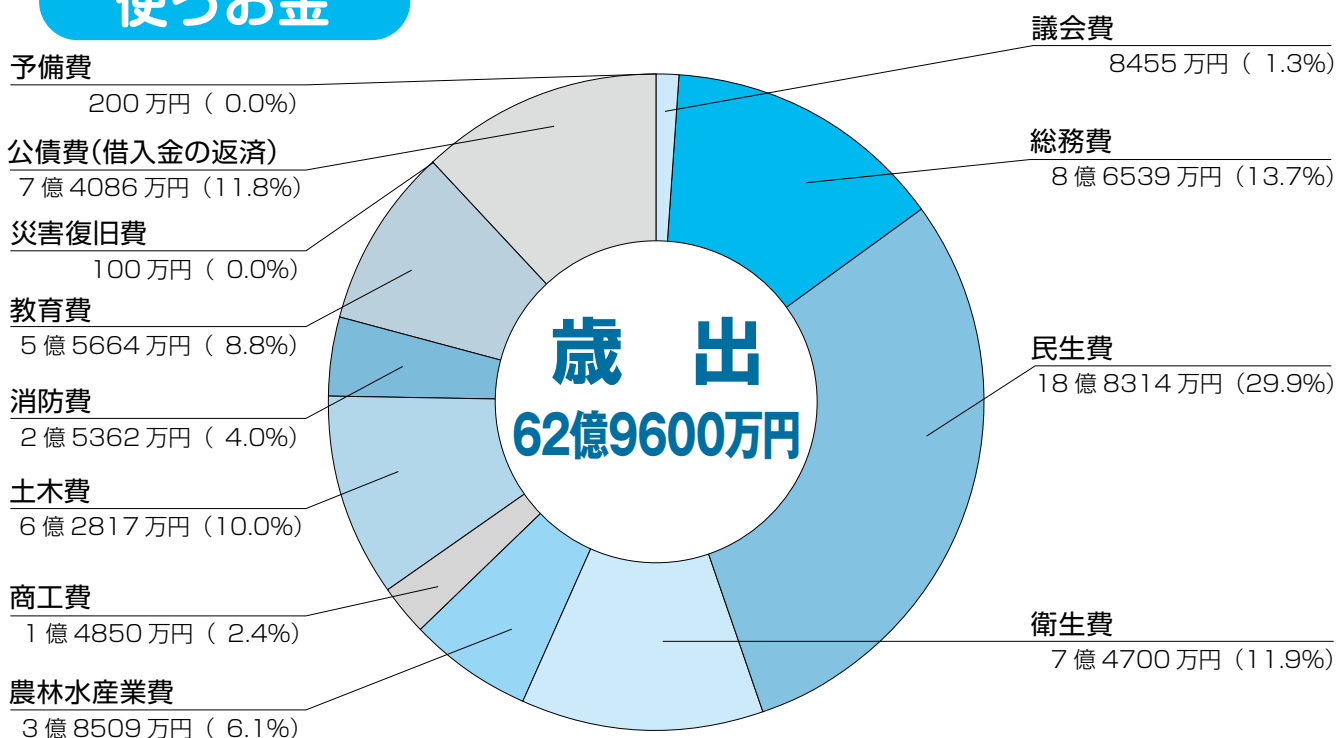
28年度補正予算11議案、29年度当初予算10議案、条例の設定及び改正など町長提出43議案、議員提出の地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書の提出のすべてを、原案通り可決しました。

29年度一般会計当初予算

子育て支援と定住

人口増の取り組み

使うお金



特別会計・企業会計予算額

会計名		予算額
特別会計	住宅新築資金等貸付	131万円
	代替バス運送事業	3271万円
	後期高齢者医療	1億3436万円
	国民健康保険	16億5503万円
	集落排水処理事業	1億968万円
	公共下水道事業	4億1731万円
	介護保険	16億5460万円
企業会計	水道事業	4億7929万円
	病院事業	23億9636万円

企業会計は収益的支出 + 資本的支出で表示 (万円未満切り捨て)

福祉・子育て関連の主な事業

地域創生チャレンジサポート事業費	314万円
U-Jターン推進事業費	623万円
体験拠点機能拡充事業	1030万円
ユニバーサルデザインしごと・交流センター整備費	4899万円
第三子以降の出産祝い金	115万円
在宅育児世帯への支援金	720万円

主な議案の概要・本会議の質疑

新年度議案の審議

本会議

29年度関係議案(条例等・予算)
一括説明・質疑(3月9・14日)

付託

予算審査特別委員会

29年度予算審査
審査(3月14・15・21日)

常任委員会

29年度条例等審査
審査(3月15日)

報告

本会議

各常任委員長報告(条例等)
予算審査特別委員長報告(予算)
質疑・討論・採決(3月23日)

観光案内所の整備

問 第10次総合計画が掲げた観光案内所の整備の具体的計画はあるか。

答 案内施設は、観光会館や道の駅がある。

この度、東浜に設置したレストランも含め、案内の充実を図ってまいりたい。

日本体育大学との連携事業

問 北小学校が、トップアスリートを招く事業に特色ある学校づくりの予算を使うのはどうか。日本体育大学との連携事業は、町が行う事業だ。



アスリートの指導を受ける北小学校児童

答 特色ある学校づくりの予算は使わないようにしたい。

岩美高校存続への支援

問 岩美高校の存続とまちづくりのため、どう支援するか。

答 現在2人の魅力化コーディネーターを配置している。

小・中学校に対する特色ある学校づくりの支援を、岩美高校にも行いたい。

職員の配偶者同行休業に関する条例の設定

職員の配偶者が外国での勤務となり、配偶者と生活を共にするための職員の休業制度を設定する。

問 条例は、職員の勤務成績を考慮して休業を認める、認めないとなっているがどうか。

答 3年を限度とするが、復帰して元の職場で活躍いただけることが条例の精神だ。

空家等の適切な管理に関する条例の設定

国の空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、町内の空家等の適切な管理に関し、必要な事項を定める。

問 空家の適切な管理並びに空家の発生の未然防止が条例の目的だ。

空家の発生を未然に防止することが、空家等対策計画の中に含まれるようになってきているのか。

答 未然防止についても、空家等対策計画の中であっていきたい。



町職員と自治会長が空き家実態調査を行う

3月定例会の審議結果と賛否の状況

		議 案	審議結果	賛否の状況
町長提出	28年度補正予算	一般会計補正予算(第7号)	可決	全員一致
		住宅新築資金等貸付特別会計補正予算(第1号)	可決	全員一致
		代替バス運送事業特別会計補正予算(第1号)	可決	全員一致
		後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	全員一致
		国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	可決	全員一致
		集落排水処理事業特別会計補正予算(第2号)	可決	全員一致
		公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決	全員一致
		介護保険特別会計補正予算(第4号)	可決	全員一致
		水道事業会計補正予算(第1号)	可決	全員一致
		病院事業会計補正予算(第2号)	可決	全員一致
		一般会計補正予算(第8号)	可決	全員一致
	計画	第2次過疎地域自立促進計画の変更	可決	全員一致
	条例設定・改正	職員の配偶者同行休業に関する条例の設定	可決	全員一致
		早期退職希望者の募集及び認定に関する条例の一部改正	可決	全員一致
		職員の育児休業等に関する条例及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	可決	全員一致
		職員の給与に関する条例の一部改正	可決	全員一致
		職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正	可決	全員一致
		行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の設定	可決	全員一致
		空家等の適切な管理に関する条例の設定	可決	全員一致
		消防団条例の一部改正	可決	全員一致
		税条例等の一部改正	可決	全員一致
		特別医療費助成条例の一部改正	可決	全員一致
		介護保険条例の一部改正	可決	全員一致
		水道事業の設置等に関する条例の一部改正	可決	全員一致
		町立渚交流館の設置及び管理に関する条例の一部改正	可決	全員一致
	東浜レストランの設置及び管理に関する条例の設定	可決	全員一致	
	規約等	鳥取市と岩美町との一般廃棄物の焼却等に関する事務の委託に関する規約の変更	可決	全員一致
		岩美町と鳥取県との間の地方公共団体における情報通信技術の共同化に関する事務の委託に関する規約の締結	可決	全員一致
		道路線の認定	可決	全員一致
	指定管理者	町立岩井コミュニティ消防センターの指定管理者の指定	可決	全員一致
		東浜レストランの指定管理者の指定	可決	全員一致
	29年度当初予算	一般会計予算	可決	全員一致
		住宅新築資金等貸付特別会計予算	可決	全員一致
代替バス運送事業特別会計予算		可決	全員一致	
後期高齢者医療特別会計予算		可決	全員一致	
国民健康保険特別会計予算		可決	全員一致	
集落排水処理事業特別会計予算		可決	全員一致	
公共下水道事業特別会計予算		可決	全員一致	
介護保険特別会計予算		可決	全員一致	
水道事業会計予算		可決	反対:田中克美	
病院事業会計予算	可決	全員一致		
人事	監査委員の選任	同意	全員一致	
	人権擁護委員候補者の推薦(諮問)	同意	全員一致	
議員提出	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書	可決	反対:杉村宏	

予算審査特別委員会の審査

29年度の予算に関する10議案を審査するため、議長を除く議員全員で構成する予算審査特別委員会（芝岡みどり委員長）を設置しました。この特別委員会は、総務教育、産業福祉の各分科会で分担して審査し、各分科会委員長の報告をもとに予算議案全体の審査を行いました。その結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定しました。

一般会計

〔歳入〕

問 町税について、前年より増額しているが、要因は何か。

答 個人町民税は、所得金額の増加によるもの、法人町民税は、町内金融機関の増益によるもの、固定資産税は家屋の新築、町内大手企業の設備投資による償却資産課税対象額の増額によるもの、市町村たばこ税は、コンビニエンスストアの開店などによる購入額の増額を見込んでいる。

〔歳出〕

交通安全対策

問 街頭指導の際の事故対応はどのようなになっているか。



街頭指導する各種団体のボランティア

答 指導員を含め、町内各種団体で街頭指導を行っている方々がいる。事故があった場合、町が掛けている、総合賠償補償全国町村会保険の対象となるよう、検討したい。

子育て世代包括支援センター事業

問 支援が必要な人どのようにに産後母子支援事業につなげるか。

答 保健師や助産師が、妊娠時の相談、家庭訪問、民生児童委員や地域住民



地域住民とふれあう母子（子育て支援センター）

からの情報により、状況を把握し、支援が必要な母子には、一時預かり（助産施設やわらかい風、子育て支援センター）やショートステイ（やわらかい風）の利用を勧める。

子育て世帯応援事業

問 1歳未満児に対する在宅育児給付と、保育所の利用との関係はどうか。

答 以前より保育料の軽減について、拡充を図ってきている。乳児を在宅で育てたいという保護者を支援する

ことで、子育ての仕方の選択肢を増やし、子育てしやすい環境を整備することで、出生率の上昇につなげたい。

多面的機能支払い交付金

問 新たに活動に取り組む組織はどこか。また取り組んでいない組織にどう対応するか。

答 新たに取り組む小田南部に働きかけている。また取り組んでいない本庄、恩志、新井には制度を説明し促したい。

有害鳥獣駆除事業

問 クマの対策はどうか。

答 県が策定した、29年度から34年度までの、ツキノワグマ保護計画で大きく変わったのは、ゾーニング管理をすることである。

集落、農耕地から概ね200メートルの範囲を、「人の生活ゾーン」とし、クマが侵入した場合、町長権限による有害捕獲許可に基づき、原則有害殺処分することとなった。

地域活性化の拠点づくり事業

問 道の駅の電気代を町が負担する考え方はどうか。

答 公的な部分は、地域活性化の拠点として、町が負担することとしており、28年度の電気代の実績から、公的な部分の面積割合（42・8パーセント）により算出している。

小学校英語活動費

問 今後教科になることに対して、専門的な取り組みを行わないか。

答 32年度からの次期学習指導要領を考慮し、英語活動支援員を配置して、授業数を増やして取り組みたい。

中央公民館整備事業

問 建て替えにあたり、中央公民館で行っている町のさまざまな行事は、どこで開催を予定しているか。

答 建て替えのスケジュールを関係部署に周知して検討しており、開催時期、出席者数などの規模を考慮しながら、役場や学校、町内公共施設の利用を検討している。

集落排水処理事業特別会計

問 資本費平準化債の借り入れの考え方はどうか。

答 中期財政見通しを立てる中で、基金があと4、5年で底をつくことが予想され、施設建設費の償還が、耐用年数の前半に集中することを緩和するため、資本費平準化債を利用したい。

この制度を利用して、基金を延命させたとしても、さらに数年後には底をつくことになる。今後、公共下水道への接続を検討しなければならぬと思われる。

公共下水道特別会計

問 新規加入件数が増加したのはなぜか。

答 岩美道路が、浦富インターチェンジまで開通したことにより、インターチェンジ付近で宅地開発があったことや、開



ステファニーさん（岩美中学校の英語指導助手）の指導で英語学習をする西小学校児童

病院事業会計

通効果によると思われる町外からの転入も、増加の要因である。

問 各都道府県の地域医療構想による、37年に必要な病院の病床数が報道されたが、岩美病院の将来像はどうか。

答 県は、地域医療構想で示している将来必要となる病床数は、参考数値であり、削減することが決定しているものではないと、説明している。さらに、病床利用は、各病院がそれぞれ置かれている状況を勘案して、自主的に取り組むものであり、あくまで、病院独自の取り組みを尊重するものであるとしているため、岩美病院は現在の病床数を必要としており、今後も維持していく考えである。

問 兵庫県からの患者の流入は、地域医療構想と、県の派遣医師数に反映されているか。

答 地域医療構想の策定にあたり、県同士で、流入の患者数のデータを共有するなどして、必要病床数を推計しており、反映されている。

問 県は、派遣医師数の決定にあたり、病院の入院、外来の受診患者数を考慮し、医療法に定められている必要医師数を参考にしているが、岩美病院の医師は、通常診療の外に、訪問診療、特定健診、人間ドックなどの、公衆衛生活動に取り組んでいる。さらに、救急告示病院として、休日、時間外も多くの患者に対応しており、北但からの救急患者も少なくない。

医師の負担を増やしているこれらの活動も、医師数を考慮する要素に加えるよう、従来から要請している。



地域医療に取り組む岩美病院の医師（後藤医師）

28年度補正予算

28年度補正予算10議案を3月8日に審議しました。その概要は次のとおりです。

一般会計

1億2631万円増額し、総額65億9759万円とした。

【歳入の主なもの】

地方交付税

4644万円増額

交付税額の確定による増。

ふるさと若美まちづくり寄付金

1200万円増額

ふるさと納税の寄付金額の増。

【歳出の主なもの】

方創生拠点整備交付金を活用し整備。

「瑞風」受入推進事業費

382万円増額

レストラン「アルマーシ」の食器など購入。

ユニバーサルデザインしごと・交流センター（仮称）整備事業費

1億5932万円増額

高齢者、障がい者、子育て中の若者が交流、サポートしながら働くことができる拠点施設を、地

漁業就業者確保総合対策事業費

237万円減額

沖合底曳き網漁船の研修生2人が、自己都合退職。

有害鳥獣駆除事業費

148万円増額

イノシシ・シカなどの捕獲件数増。

企業立地促進補助金

941万円増額

認定事業者の増。

新規創業・開業支援事業費

250万円増額

町内で新規事業を開始し、町内在住者を雇用する事業者を支援。

町道新設改良事業費

6700万円減額

国庫補助金の配分が少なかったため、町道前田線改良を一部延期。

遺跡発掘調査事業費

389万円増額

道路改良事業に伴う、県委託事業。

水道事業会計

収益的収入及び支出を428万円増額し、総額2億5912万円とした。

新加入者納付金

104万円増額

新加入者の大幅な伸び。

28年度補正予算（追加）議案を3月23日に審議しました。その概要は次のとおりです。

一般会計

1048万円増額し、総額66億808万円とした。

【歳出の主なもの】

田後展望施設連絡橋改修事業費

503万円増額

2月の大雪による落橋改修。

この他の大雪対策費4件は、445万円。

岩美高等学校振興活動支援補助金

100万円増額

小・中学校の特色ある学校づくりの支援を、岩美高にも適用。

指定管理者の指名

施設名
町立岩井コミュニティ消防センター
指定管理者
岩井温泉区
期間
29年4月1日から
39年3月31日まで

施設名
東浜レストラン
指定管理者
株式会社東浜
期間
29年4月1日から
32年3月31日まで

人事

監査委員の選任に同意しました。
寺谷 信一郎（陸上）
人権擁護委員候補者の推薦に同意しました。
岩崎 弘道（岩本）
（敬称略）



ユニバーサルデザインしごと・交流センター整備予定地（旧本庄小学校を解体）

賛否めぐり白熱の討論

請願・陳情はすべて不採択、議員提出議案は可決

テロ等組織犯罪準備罪(共謀罪)の創設に反対する請願書

採択 田中克美議員

日本は銃砲刀剣の所持が禁止され、内乱罪や凶器準備集合罪など、実行以前の段階から取り締まる制度が既にあり、テロ等準備罪を創設する必要がない。

法案は、二人以上が準備行為を伴って実行計画を合意することを処罰するもので、国家権力によって個人の通信の秘密やプライバシーなど基本的人権が大きく脅かされる。

不採択 田中伸吾議員

187か国が締結している国際組織犯罪防止条約を、主要7か国のうち日本だけが締結しておらず、締結要件としてテロ等組織犯罪準備罪の創設が必要だ。法案は、対象を専ら犯罪目的の集団に限定し、一般国民には関係ないもので、国内の治安対策と

して早期成立が必要だ。

採択 日出嶋香代子議員

法案は、憲法が保障する市民の表現、思想、内心の自由を侵害し、監視社会につながる恐れがあり、採択すべき。

採択 杉村宏議員

日本弁護士会の新たな立法は必要ないとする公式見解により、採択すべき。

不採択 柳正敏議員

この条約は、重大な犯罪を行うことの合意又は組織的犯罪集団の活動への参加の少なくとも一方を犯罪とするものだが、日本の現行法は、合意罪はごく一部しか満たさず、参加罪も存在しないため、新たな立法措置が必要だ。 ※次ページの討論もお読みください。

請願・陳情審査結果

件名	委員会審査報告	本会議の賛否	結果
テロ等組織犯罪準備罪(共謀罪)の創設に反対する請願書 提出者 憲法改悪反対鳥取県共同センター代表 鳥取県労働組合総連合 議長 田中 暁 紹介議員 田中克美、日出嶋香代子	国際的にテロが多発し、日本もその渦に巻き込まれることが考えられる中、3年後に東京オリンピック・パラリンピックを控えており、国際社会と協調してテロを未然に防ぎ、組織犯罪に立ち向かうための法整備は必要である。また、法案は、対象となる集団を、犯罪を実行するために結びついている「組織的犯罪集団」に限定し、資金調達などの準備行為があることを条件に盛り込むとともに、対象犯罪をテロや薬物関連など277に絞り込まれる見込みであるので、不採択。	賛成 杉村宏 日出嶋香代子 田中克美	不採択
「沖縄の声に共鳴して地方自治の堅持を日本政府に求める意見書」の採択を求める陳情 提出者 鳥取県労働組合総連合 議長 田中 暁	沖縄県民の苦難の心情は理解できるが、北朝鮮などの動向による緊張が高まる中、日本の平和と安全を守るという重要な役割を持つ政府は、米軍再編、土地返還など、沖縄の負担軽減にもつながる米軍基地建設計画を進めており、沖縄の民意を真摯に受け止めていると認められるので、不採択。	賛成 杉村宏 日出嶋香代子 田中克美	不採択
「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書 提出者 鳥取県労働組合総連合 議長 田中 暁	鳥取県の最低賃金は、平成28年に693円から715円に引き上げられたところであるが、県内企業においては、労働コストの増加によって厳しい経営を強いられている現状があり、県内の経済状況を勘案すると、これをすぐに全国一律1000円以上に引き上げることは、性急で現実的でないため、不採択。	賛成 杉村宏 田中克美	不採択

「沖縄の声に共鳴して地方自治の堅持を日本政府に求める意見書」の採択を求める陳情

採択 田中克美議員

沖縄県をはじめ市町村や議会など、多くの県民が県民大会や建白書などで、政府に対してオスプレイ配備の撤回や米軍普天間基地の撤去を再三求めているにもかかわらず、政府は、沖縄の民意を一顧だにせず、基地強化を強権的に進めている。

このような政府の対応は、地方自治の理念を損なうものであり、陳情の見解を、国頭村と交流している町の議員、議会として理解し共感する。

不採択 寺垣智章議員

国と沖縄で主張が対立している部分があるが、地方自治法に基づいて適切に処理され、政府は真摯に沖縄県の意見を受け止めつつ、抑止力の維持と沖縄県の負担軽減を両立する取り組みを進めており、不採択とすべき。

採択 杉村宏議員

本土と沖縄とは、地政学的、歴史的に立ち位置や認識が相当に異なると考え、陳情の趣旨を理解して採択すべき。

不採択 柳正敏議員

国と地方公共団体が対立する場合は、各種法令の規定に沿って解決が図られており、政府自らが地方自治を踏みにじるといっ指摘は当たらない。

「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書

採択 田中克美議員

不安定な所得とその低さが結婚や出産・育児を阻害し、少子化の極めて大きな要因だ。経済が上向かないのも個人消費・家計消費の低迷が原因だ。今のさまざまな問題の窮状を打開する最も基本的な方策の一つとして、全国で中小企業の直接支援を行い、最低賃金を引き上げよとするこの陳情を採択すべき。

不採択 寺垣智章議員

全国一律の最低賃金の導入は、地方の中小企業を圧迫し、雇用を失う。また、政府の直接支援に頼る形では、持続可能な経済政策と見え、陳情には賛成できない。

採択 杉村宏議員

町内雇用環境の改善に資するものであり、内閣総理大臣も全国平均1000円を目指しており、その進展を促すため採択すべき。

議員提出議案

地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

国民の政治参加や地方議会における人材確保の観点を踏まえ、新たに地方議会議員が厚生年金へ加入できる制度を国に求める意見書を提出する。

賛成 柳正敏議員

幅広い層の世代が議員をやるうと思える環境づくりを行わなければならぬ。そのために、地方議会議員の年金制度を時代にふさわしいものとする中で、議員を志す新たな人材確保につながる。この意見書を国に要望することは、現職の議員としての責務であると考えられる。

討論

反対 杉村宏議員

岩美町議会議員は、常用的勤務とは受けとめられず、また、公的負担の増も見込まれることから、現在はさらに検討を要する段階で、意見書提出までには至っていない。

賛成 田中克美議員

議員の存在意義を果たすためには日常の研さんが不可欠で、常用的でないからと、単に拘束時間で基準を設けることは不合理だ。

議員が生活し活動を継続して本務を果たすためには、十分な報酬とは言えず、退職後の生活保障も何らかの制度的な保障が必要だ。

除雪に民間企業の協力協定を検討せよ

杉村 宏議員

状況は非常に困難だ

榎本町長



杉村 宏議員

杉村 33年ぶりの大雪で、道路の通行が困難となつた。

このような大雪災害にも、自主防災組織の働きが重要と考へている。必要性と課題をどう捉えているか。

町長 雪の対策についてそれぞれに、集落で、あるいは自主防災組織そのもので、自治会でさまざまに組みが行われている。

大雪についても、防災組織の活動が、非常に必要だと思つている。

杉村 町内企業が保有する除雪機で、自社の敷地などを除雪し終えた後、幾らかの除雪協力をいただけるように、町または自主防災組織との間で協定はできないか。

町長 今、町内の事業所では大型の除雪機はほとんど持っていない。

浦富の町営の駐車場やごみの集積場を、自主的に除雪協力していただいている例はあるが、県の車両にオペレーターを派遣して運転するスタイルとなつてきている。状況は非常に困難だと言わざるを得ない。

杉村 小型除雪機を保有している企業に、大型除雪機が入れない道路など

の除雪に協力はいただけないか。

町長 住民の皆さん、町内会と企業とで自主的にやっていたきたい。

杉村 大雪で町内の宿泊予約キャンセルなどへの影響はあつたか。

飯野商工観光課長 観光協会のまとめでは、宿泊、日帰りを含め、772人だ。

杉村 観光協会から要望や意見はあつたか。

飯野商工観光課長 町には、排雪、除雪作業を精一杯していただいた。台風も含め、予測できない自然災害は、やむを得ないとの意見を聞いている。

杉村 大雪で町内の宿泊予約キャンセルなどへの影響はあつたか。



活躍する町の大型除雪車（町道唐川線）

沖合底曳き網漁船の代船建造はどうか

杉村 宏議員

見込みは2隻だ

榎本町長

杉村 県対策は町内船を多く想定したものと捉えるが、町内船籍の沖合底曳き網漁船の代船建造の見込みはどうか。

町長 12隻中、7隻の更新計画があるが、難しい状況の中で、国の28年度予算では2隻の予定だ。

杉村 ズワイガニ漁獲量日本一の実績を、今後も積上げられる見込みはあるか。

町長 そこにこだわってさまざまな施策をすつといつ捉えはしない。

杉村 漁業就業者確保として、船の法定点検時に、ライフラフト（救命いかだ）の乗船体験などを公

開し、安全対策をアピールしてはどうか。

町長 町が行う考えはない。

ライフジャケット（救命胴衣）については、装備の再検討を県とも相談している。

点検については、これまで、船舶法に基づき団体がやっている。

依頼があれば、防災無線で放送する。

その他の質問

町道前田線の冠水対策

地籍調査結果の積極的な広報

岩美病院の医師負担の認識共有

女性の登用を進めよ

芝岡みどり議員

各審議会などに女性の参画を要請している

寺西教育長



芝岡みどり議員

芝岡 25年3月に男女共同参画条例を策定し、この推進に取り組んできた。28年3月に第二次男女共同参画計画を策定し、課題は何か、どこに重点を置き策定をしたか。

重要視された課題は何か。

松本教育委員会次長 各種審議会、委員会での女性登用率、ワーク・ライフ・バランスの普及、啓発、性別による固定的な役割意識などが重点課題だ。

芝岡 第二次基本計画では、三つの重点目標をあげている。

①政策方針決定の場合の男女の参画。

②共同参画に理解を広げる学習、広報啓発の充実。
③地域における参画の推進。

これらにどう具体的に取り組んだか。

教育長 審議会を持っていく部署には女性参画の要請をしている。

また町長、企業、学校などにも*イクボス宣言をお願いした。
講演会、研修会の取り組みを設けた。

芝岡 第二次計画では女性の登用数値目標を35パーセントと掲げているが、どう決めたのか。

教育長 町民意識調査を活用し、さまざまな点で反省をし、評価をして非常に重要な数値だと認識して設定した。

芝岡 各種審議会、委員会への女性を登用できない理由をどのように捉えているか。

教育長 女性が参画できるように、それぞれの審議会を所管している部署に、女性の登用について要請している。

芝岡 女性活躍のために、役場はどのような姿を目指しているのか。



役場など町内 16 事業所が共同でイクボスを宣言

町長 役場でも育児休業は男性職員も取れたり、管理職はサポートする職員に働きかけるようにしたい。

芝岡 祖父母世代と今の親世代の育児は大きく変わってきている。
第三者の立場で作った育児の手引き「祖父母手帳」の発行を提案する。

橋本住民生活課長 母子手帳とあわせて、県作成の小冊子「孫育てのススメ」を交付している。

***イクボス**
職場で共に働く職員のワーク・ライフ・バランスを考え、マネジメントしながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を充実させるなど、職員の見本になる上司(管理職員)のこと。

国保の都道府県化で町の役割は変わるか

田中克美議員

町の事務は今と変わらない

榎本町長



田中克美議員

が実施する。

国と市町村がやりとりしてきた交付金は、県がまとめて交付を受け取る形になる。

田中 27年に成立した「医療保険制度改革関連法」に基づき、30年から都道府県も国民健康保険の保険者となり、国民健康保険は、都道府県と市町村が共同運営する制度となる。

田中 都道府県化によって、県は県内の統一的な運営方針を定めるとされている。

策定要領に基づく運営方針に、町は従う義務はないと理解するがどうか。

町長 なぜ、都道府県化なのかと言えば、国が財政負担している部分を減らしたいという強い思いがあると思う。

町村の任意性や、今までの状況を担保していくというなかで、一般財源を自由に入れていっていかと言ったら、現在の

町長 町が行ってきた国保税額の決定、資格の取得や喪失、保険証の発行、医療費の支払いなど、町民と直接かわる部分については、今まで通り町

国保制度に大きくかわる話である。
ガイドラインとはいいながら、尊重もし申し合わせもし、国や県の負担のルールをしっかり守りながら、やってもらわなければいけないと認識している。

田中 国保の構造的問題のもとで、県内一律の方

針でやられては実態に合わなくなる。
繰り入れ禁止の方針にしてはならないと思うがどうか。

町長 決算時点の補てんを目的にした繰り入れはすべきでないと思う。

国保税の決定にあたって行う基金繰り入

れは、市町村の意思に任せてもらいたい。
町民の加入率でいえば、社会保険等が半数以上であり、町民全体の理解が得られるところを見きわめながら、ということだと思つ。

田中 保険者としての責任が生じる県に独自の財政支援を、国保の構造的

問題の打開のための財政負担を要望するよう求める。

町長 運営方針策定の前段で市町村に口頭の聞き取りがあった。

保険税が高くならないように、給付制限を受けないようにということを強調した。

全国町村会でもテーマにしてきた。

現状の保険サービスが継続されるよう取り組んでいきたい。



国民健康保険の窓口
(住民生活課保険係)

その他の質問

学校給食の無償化

沖縄県国頭村との児童

交流

岩美の条件と力を生かす知恵が大事

人口増の取り組みを調査



我が国の人口が減少に転じ、日本創生会議の「消滅可能性リスト」が公表され、本町もその中に含まれていた。本町では27年9月、地方創生総合戦略を策定し、「チャレンジする若者が集うまちをめざして」をテーマに、各種施策を展開している。

このような中、議会も昨年に引き続き、人口減少に対応する取り組みを調査研究し課題を整理するため、人口増加し続けている和歌山県上富田町、日高町を視察し、人口減に歯止めをかけるための考え方、方法や施策の現状を把握し見識を深めることとした。

視察先

和歌山県上富田町

視察日

28年11月15日

まとめ

企業誘致政策と工業用地造成による雇用の場の確保と住宅の整備により、団塊ジュニア世代やそのファミリー層の定住に繋がっている。また近年では、東南海・南海地震により海岸部からの転入人口が増えている。

なお「福祉の町」政策によるシルバー世代の転入で、人口は自然減以上に社会増となっている。

視察先

和歌山県日高町

視察日

28年11月16日

まとめ

農地が多く市街地が少ない日高町は、周辺市町より地価がもともと安く、バブル崩壊後住宅取得者の手に届く水準に下がったこと、東日本大震災に

昭和40年代の企業誘致の取り組みや和歌山県内における上富田町の立地条件を生かした施策が人口増につまぐ繋がっているという印象が強かった。



上富田町の人口増につながる施策を調査

より津波の影響を受けにくいことが、近隣からの人口流入を生んだ。併せて町の施策である汚水処理施設整備や地籍調査の早期完成も人口減対策に功を奏した。

さらに、住宅取得者の多くは若年層（子育て世代）であり、近居の親族による子育てフォロー環境が整っていたことなどプラス要因が重なり人口増に繋がっている。

女性の就業率と出生率とは相関関係にあり、人口増の大きな要因が、女性の就業率アップであることが明確になった。

総合戦略アンケート結果に見る、岩美町に住みたい理由「は日高町と一緒にある。」

地理的環境など相違はあっても、知恵を駆使すれば人口増は実現できるものと大いに参考になった。

全体を通じたまとめ

視察研修をふまえ、人口減に対応する町の取り組みについて、全員協議会で報告書のとりまとめを作業部会に一任することとした。

その後作業部会（正副議長、正副議会運営委員長、各常任委員長）で議論を重ねた結果、次のような課題が見えてきた。



日高町の人口増につながる施策を調査

自然増の 取り組み

①女性の労働参加（就業率向上）が出生率アップに大きく関係する。

保育サービスの充実はもとより、働く女性の視点に立った、「働く場の確保」、同居や近居など「住宅環境の整備」を、施策に取り入れることも重要である。

②団塊の世代がシルバー世代を迎えた。地域で生き生きと元気で長生きできるように、保健・医療のみならず総合的な「地域福祉」の取り組みをさらに充実することが重要である。

社会増の 取り組み

①転出の多い年代や転入する年代の要因・理由についてしっかりと分析を引き続き行い、世代の課題とニーズを的確に捉え、住みやすい町づくりに生かさなければならぬ。

②イターン移住者を増やすことも重要だが、現在住んでいる者の流出をいかに少なくするか。住み続けることでメリットを感じる施策をさらに充実することも重要である。

③働く場は、生活する上で重要な要素である。農業・漁業などの第1次産業は、地域とのかかわりが非常に強いことから、定住に結びつくと考えられる。

農業・漁業とも高齢化が進み、後継者不足は深刻な状態である。現に就業している人が継続していく施策、および新規の農業・漁業者をどのようにして増やすかを継続して考えていかなければならない。

④空き家を含めた住居の確保は、移住者を受け入れるためには不可欠である。

島根県中山間地域研究センターでの岩美町人口推計シミュレーションによると、流出減も含め年間を通して60組（20歳代夫婦、30歳前半夫婦（4歳以下の子ども含む）、60歳代前半夫婦）の移住受け入れが理想ではあるが、移住者に紹介できる空き家・賃貸住宅の確保を年度ごとの数字目標を持って今後も継続的に支援する必要がある。

⑤地震や台風などの自然災害に強い町であることは、移住・定住に欠かせない要因の一つである。

岩美町は災害が少ない町であることを伝えるとともに、いつ起きるかわからない災害から人命、家・土地などの財産を守るため、強固な防災・減災対策を推進することが重要である。

以上の課題について、今後も調査研究を続けて行く。



東浜駅停車中の瑞風

「瑞風」で まちを盛り上げたい

小山 瑞風が来る金曜日以外のレストランの経営が大きな課題です。瑞風と共にレストランで岩美町を盛り上げたいです。

中島 いま旅行会社とも交渉して、砂丘観光をしても、食事はアルマーレで、という流れを作りたいと思っています。

この辺では魚料理が定番ですが、イタリアンという、新しい趣向ができます。しかも、瑞風に提供している料理が売ります。

アルマーレを食事場所にしていただければ、浦富海岸の観光もセットにしていけると思います。

田中 アニメ「Free!」効果

で若者のリピーターが多いが、彼らは、雨の岩美も良いとか言って、季節を問わず岩美の自然に感動しているんですよ。

自然だけじゃなく、おじいちゃんやおばあちゃんが、彼らに声をかけてくれる人の温かさ、魚なんか食べ物のおいしさもあるんです。

乗客の方々に、彼らのような感動を味わってもらって、それを発信してもらったら大きな影響が出ると思うし、その発信力がJRをも動かすだろうと思う。

中島 アルマーレは、なるべく地元のものを提供したいので、道の駅に出荷している東浜の生産者に、アルマーレにも提供してと頼んでいます。それで足りないものは、道の駅から調達しようと思っています。

イタリアンの野菜を、この辺りの休耕地で作ろうかと思っていて、皆さんがやってみようと言ってくれているんです。

良いものをなるべく安くあげられるようにしたいです。

浜口 北小学校から、郷土芸能として子どもたちに教えてくれと頼

まれていて、瑞風の受け入れが落ち着いたら、教えに行くことにしているんです。

地元のことを再認識したり誇りを持つ機会にしたいですね。

チャンスの神は 前髪しかない

田中 ヨーロッパの古いことわざに「チャンスの神は前髪しかない」というのがあるそうです。

“チャンスの神様は、前髪しかないから過ぎ去った後に掴もうとしてももう掴めないよ。だから、チャンスの神様が来た！と思ったら、しっかりとキャッチしよう”という意味です。今がそのチャンスですよ。

瑞風の停車駅が見直されるまでの3年間は、瑞風以外のお客さんもしっかりと掴んでいきましょう。



瑞風を岩美観光のチャンスに 一議員間で意見交換

議員間の意見交換の場を設け、瑞風を町おこしに生かすことをテーマに語り合いました。

- ◆岩美の春夏秋冬紹介のDVDを（ドローンで空からの映像も撮って）、瑞風やアルマーレで放映してはどうか。SNSで世界中に拡散されるので、乗客以外の方にも岩美の良さを知ってもらいたい。
- ◆麒麟獅子舞、はねそ踊り、ゆかむり音頭なども見てもらいたい。踊りの後ろで大漁旗を振ってはどうか。
- ◆田後～網代間の遊歩道、西脇海

- 岸などの動画を乗客に見てもらい、乗客が選択したコースを観光してもらう。
- ◆プライベート・ビーチを整備し、提供する。岩美の海岸には候補地は何か所もある。
- ◆海岸の夕日など岩美にはすごいところがいっぱいある。昼間以外の岩美を動画で紹介し、また岩美に来ようと思ってもらいたい。
- ◆写真スポットとか駐車場など、

- 瑞風を見に来る人のことも考えて、対応を考えよう。
- ◆体験型ツアーが人気だ。地引網だけでなく、海岸線を自転車で走るのはどうか。
- ◆初日、2日の観光地は建物だ。浦富海岸は唯一、自然に触れる場であり、世界に誇れる景観だ。七坂峠からの眺望は素晴らしい。雨天の時は、「海と大地の自然館」の3Dで対応できないか。

小山 ここに足洗い場も作ったので、本当は、裸足で砂浜を歩ってもらいたいなあ。

春先の乾燥しているときには、きゅっ、きゅっ、と鳴き砂になります。

石川啄木の「東海の 小島の磯の 白砂に われ泣きぬれて 蟹とたわむる」というような、自然に対する詩情をゆっくり味わってみたいです。

ただ景色を眺めて終わりではなく、写真とか俳句や短歌を乗客の皆さんに投稿してもらって、JRにまとめてもらうのはどうかな。

浜口 岡山や松江を観光しても、海がないところでしょう。乗客の方にとって、海はここしかない。山陰海岸国立公園だし、世界ジオパークだし、それを肌で感じてもらうためにも、ぜひ裸足で歩ってもらいたいです。

おもてなしの主体 東浜瑞風会

田中 東浜瑞風会のことですが、東地区の人たちが、よしやろうと立ち上げたんですね。

小山 27年に瑞風が東浜に停車することが決まったことを受けて、地元のおもてなしの主体として東浜瑞風会を立ち上げた。陸上だけでなく4地区のくくりで受け皿になろう、みんなでやろうと。それが良かった。その中にレストラン班とおもてなし班を作った。

レストラン班は、株式会社東浜に発展して、アルマーレとして実を結んで、おもてなし班は、地引網や東浜音頭の実行組織となっています。

中島 停車が決まったことを、東地区の人たちがどう感じているか、ものすごく不安だった。

株式の募集を始めたら、1週間足らずで、予想を大きく上回り、その8割位が東地区の方で、「すごい！」と思いました。

岩美町の中で東地区の自治会が一番結束していると感じました。

イタリアンレストラン 「アルマーレ」



アルマーレ前景

中島 私たちは、レストラン担当です。乗客のみなさんにとって、最終日のお昼、最後の食事なので、この評価が良くないと、瑞風の旅行全体がダメになるくらいの覚悟で取り組んでいます。

そのためには接客と料理が要です。昨日も夜10時まで頑張って研修、準備をしていました。

高級なものを食べている方々なので、イタリアンでも、ピザやパスタは食べ飽きています。

県に支援していただいて、東京赤坂の一流レストランのシェフや、イタリアでミシュラン一つ星のレストランを経営するシェフの指導を受けながら、味噌や醤油を使って、ちょっと変わったイタリアの田舎料理も研究しています。

東浜音頭で 最高のおもてなし



東浜音頭を披露

浜口 東浜音頭は、昭和44年にできたもので、振り付けの寺谷さくらさん以外、亡くなられましたけど、作詞、作曲、歌も、みな、東地区の人なんです。

歌詞に、イカやワカメ、屏風岩、羽尾の灯台とか地引網も出てきて、とっても良いですよ。

地蔵盆などで子どもたちが踊っていましたが、途絶えていました。停車が決まって、再現しようということになって、たくさん練習してきましたよ。

踊り手はみな東地区の人で、20人が法被を着て、その浜で海を背にして2列に並んで踊ったら、それは見事な絵になりますよ。

レストランのテラスから見たら最高ですよ。

獲れたて新鮮な魚で 最高の食事



アルマーレの窯

浜口 地引網は県漁協東支所が行います。船から網をだあーと打っておいて、前浜で引き手が左右に分かれて網を引っ張るんですが、2時間くらいかかります。

時間がないので、40人ほど地元の引き手の者が、瑞風の到着を見計らって、網を目の前まで上げておくんです。

短時間でも参加して、触って感触を味わってもらいたいです。タイやヒラメがピチピチと跳ねるところを、目の前で見てもらいたいですね。

獲れたてを、この窯で、目の前で料理して食べたら最高です。

トワイライトエクスプレス瑞風 6月から東浜駅停車 東浜瑞風会のみなさんに語っていただきました

6月から「トワイライトエクスプレス瑞風」が東浜駅に停車します。

東浜は、周遊コースの停車3駅の1つです。町も議会も町民も、乗客の方々には岩美町を体感していただき、全国発信を期待しています。

地引網ができないときの観光先は鳥取市内——と聞き、議会もこの事態を突破するためにできることはやろうと考えました。

意見交換会（16頁に関連記事）もその一つですが、議会だよりでも地元東地区のみなさんの思いを語っていただくことにしました。

※17,16頁と読みすすんで下さい。



レストラン「アルマーレ」で行った座談会のもようです。左から浜口丈夫・大羽尾自治会長、1人おいて中島睦郎・株式会社東浜代表取締役、小山勝之進・東地区自治会長のみなさん。司会は田中克美・議会だより調査特別委員会委員長。

田中 乗客の皆さんに地引網を体験していただくことになっていますが、地引網ができないときでも、町内を観光してもらいたいと思っています。

地引網がないときは、鳥取駅で下車して、旧吉田医院、鳥取民芸美術館などに立ち寄って、アルマーレに食事に来られるのですが。

岩美町の自然を体感してもらいたい



浜口さん

浜口 そんな人工物ばかり見ている、山陰のイメージが少ない気がします。



小山さん

小山 せっかく東浜に来られるなら、海を見てもらいたいです。

やっぱり、山陰海岸ジオパークの城原海岸の景色は上からも見えるし、西脇海岸もとても良いです。

浜口 県境の七坂から見る風景はテレホンカードにもなっていて、ごっついきれいですよ。



中島さん

中島 乗客は、話を聞いている限りでは、退職祝いとか、結婚30年、40年の祝いとかで、高齢な人が多い。踊り、おもてなし、地引網が引けなくても、岩美の新鮮な魚を提供するのは最高だと思う。網が引けないときは、城原海岸とか、きれいなところを見てもらいたい。

岩美といえば海と温泉だ。岩井温泉のお湯を持ってきて、足湯ができないかな。

議会だより調査特別委員会

委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	議長
寺垣	杉村	宮本	川口	田中	日出嶋	柳	芝岡	田中	船木
智章	純一	耕司	伸吾	香代子	正敏	みどり	克美	祥一	

編集後記
お読みいただきありがとうございます。お気づきと思いますが、恒例の「町民に聞く」を、裏表紙からページに読み進め、量も3ページにわたるものになりました。東浜駅停車なら、岩美の海でしょーこの期待を現実にした、議会もできることに挑戦したい。今号は、その意気込みの表れです。「瑞風」を、町おこしの一契機にしたいものです。
田中克美